【総括表】

用途	野外活動施設

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	総合野外センター	坂上町	大規模修繕	

2　計画期間

2021 年度から 2026 年度までの 6 年間とする。

3　目標使用年数

原則、目標使用年数は 57 年以上とする。

4　対策の優先順位の考え方

当該施設は、宿泊体験を中心とした野外活動や集団活動などを行うための青少年育成施設である。対策の実施にあたっては、施設の劣化状況や点検・診断結果等を踏まえ、財政負担の平準化等も考慮しながら、計画的に行うものとする。

【個別表】

1	施設名	総合野外センター

1　施設の概要

所在地	坂上町	延床面積	7,350.38 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
交通児童遊園倉庫	LWS 造	1970	62.64	1 階	
（Ｄサイト）学習棟	Ｓ造	1970	103.68	1 階	
チビ゛ツコ．自然館	Ｗ造	1975	70.00	1 階	
山の資料館	Ｓ造	1985	498.00	1 階	
２１世紀の城	RC 造	1985	20.29	2 階	
車庫	Ｓ造	1985	46.00	1 階	
丸太小屋	Ｗ造	1988	24.30	1 階	
多目的ホール	RC 造	1990	1,314.00	1 階	
便所	W造	1992	10.00	1 階	
ファミリーサイト便所	Ｗ造	1993	38.71	1 階	
便所（Ｄ広場）	Ｗ造	1994	33.80	1 階	
便所（運動広場）	Ｗ造	1994	24.10	1 階	
便所（Ａサイト２）	Ｗ造	1995	33.80	1 階	
便所（Ｃサイト）	Ｗ造	1995	33.80	1 階	
便所（ファミリーサイト）	Ｗ造	1996	32.29	1 階	
便所（管理棟前）	Ｗ造	1996	16.20	1 階	
焙烙山いこいの広場倉庫（旧便所）	Ｗ造	1997	16.20	1 階	
（Ｂサイト）屋外便所	Ｗ造	1997	16.20	1 階	
運動広場管理小屋	Ｗ造	1997	26.50	1 階	

Ｂ広場炊事棟	Ｗ造	1998	96.00	１階	
Ａ広場炊事棟	Ｗ造	1998	160.00	１階	
Ｃサイト炊事棟	Ｗ造	1999	128.00	１階	
少年自然の家	RC造	2001	3,295.00	３階	
(ファミリーサイト) 管理棟	Ｗ造	2002	346.50	１階	
運動広場休憩所	Ｓ造	2003	140.00	１階	
管理棟	Ｓ造	2005	256.92	２階	
Ｃサイト炊事棟	RC造	2009	504.00	１階	
危険物保管庫	LWS造	2009	3.45	１階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５１年が経過している。２００３、２００６、２００９、２０１３年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われているが、修繕工事を行っていない部位を中心として劣化が進みつつある。小規模な建物が多数あるため、主要な施設はもちろん小規模な施設についても引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。

	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	特になし。
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。